

Lion

IWATE

2018. 4

332-B 地区 アクティビティスローガン
かたい絆に思いを込めて、We Serve

目の不自由な人たちの光になりたい。

「桜井記念 視覚障がい者のための 手でみる博物館」へ展示品寄贈

盛岡南LC 会長 L. 川村 勲



盛岡南ライオンズクラブ（会員76名）は3月26日、桜井記念 視覚障がい者のための手でみる博物館（館長川又若菜氏、盛岡市東中野字五輪）へ今期の展示品贈呈（ウサギ、狸の剥製各1体）及びライオンズクラブ国際協会100周年記念レガシープロジェクト楯の贈呈を行いました。

当日は公務ご多忙の中、岩手県社会福祉協議会会長 長山洋様、盛岡市社会福祉協議会会長 川村裕様、盛岡市保健福祉部次長 藤原真人様、岩手県視覚障がい者福祉協会前理事長 小島伸公様を始め会員の皆様にご出席いただきました。加えて、332-B地区第1副地区ガバナー L. 猿舘伸俊にもご出席をい

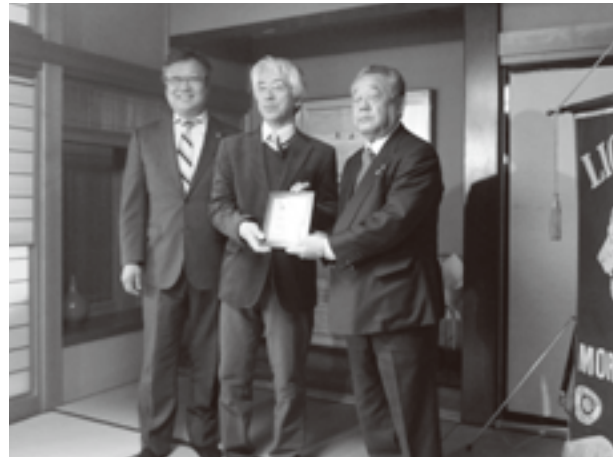
ただき記念楯の贈呈をしていただきました。

同館への展示品寄贈は今期、節目の5年目となる事から今回の寄贈式はライオンズクラブ国際協会100周年記念レガシープロジェクトとして、近年、盛岡南ライオンズクラブが地域への様々な奉仕活動や貢献をしてきた中で2014年から5年間にわたってご支援させていただいてきた「桜井記念 視覚障がい者のための手でみる博物館」に記念楯を贈呈し、盛岡南ライオンズクラブの活動のレガシー（遺産）として残すべく記念楯の贈呈式も同時に挙行了しました。

記念楯にはレガシープロジェクトのシンボルマークと「必要があるところにライオンは

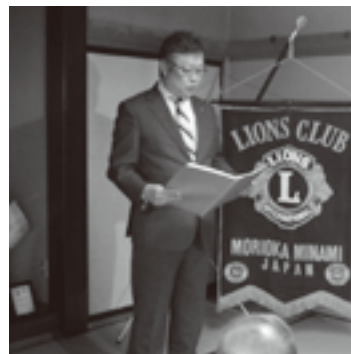
います」という意味の「WHERE THERE IS A NEED、THERE IS A LION」更にその下に「目の不自由な人たちの光になりたい 2014年から盛岡南ライオンズクラブは桜井記念 視覚障がい者のための手でみる博物館を支援しております」と記しました。

同館の創設者、全盲の故桜井政太郎氏（元岩手県立盲学校教師）は視覚障がい者は文物により得る知識よりも触察による方法がより確かで深い理解が得られるという「百聞は一触にしかず」の信念で私財をなげうち、奥様と二人三脚で国内外から3千点もの展示品を収集、また、自ら作成した展示物を盛岡市北山のご自宅に展示して全国から来られる、視覚障がい者のために献身的な活動をされて来られました。そして現在は、その意思をつないでおられる同館の理事長 川又正人様、奥様の昌子様、そして、ご令嬢の館長若菜様様のこれまでの活動に共感をし、我々もライオンズとして「目の不自由な人たちの光になりたい。」という思いを持って5年間継続して、展示品の寄贈をしまいいりました。



当日、式典に参加をされた視覚障がい者の人たちがウサギや狸の剥製を触りながら特徴を確認され、喜んでおられる様子を見たことで、これからも目の不自由な人たちの光になりたい、視覚障がい者の人たちのためになる事業を続けていきたいとの思いを一人のライオンとしても強く再確認することが出来ました。

また、この贈呈式当日の様子はIBC、IAT、岩手日報等に取り上げていただきライオンズの社会福祉貢献活動としてPR出来たことは盛岡南ライオンズクラブとしても幸いな日となりました。



ライオンズクエストは生きる力

332-B 地区 地区ライオンズクエスト副委員長
盛岡中津川 LC L. 鈴木 耕平



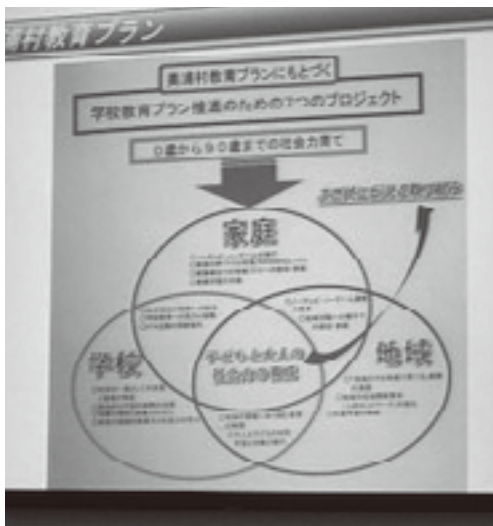
ライオンズクエストが日本に導入されて10年以上が経ちました。3月10日に東京にて青少年育成支援フォーラム（JIYD）主催の講演会に参加してきました。

まず、ライオンズクエストとは何でしょう。ライオンズクエストは青少年健全育成のための「ライフスキル教育」のことです。

では、「ライフスキル」とは何でしょう。ずばり「生きる力」のことです。

教育の中ではいわゆる学力“考える能力”が優先されています。それに対して“行動する能力”が不足しています。

第1にコミュニケーションと対人関係の能力です。自分の考えや思いを相手に伝え、相手の考えや思いを受け止め、良い人間関係を結ぶことです。



第2に意思決定と問題解決能力です。何かを選択したり、決定するための力、問題にぶつかったとき、解決に向けて行動するための力です。

第3に自分の感情をコントロールする能力です。自分自身に不安を持ったり、劣等感を持ったりせず、客観的に評価し、自己肯定感を持って自分の価値観を大切にすることです。

茨城県の小さな美浦村立大谷小学校の教諭が講師となり、全国のライオンと体

験ゲームなどを交えて研修してきました。初対面のメンバー同士、初めてのコミュニケーションに挑戦する体験です。

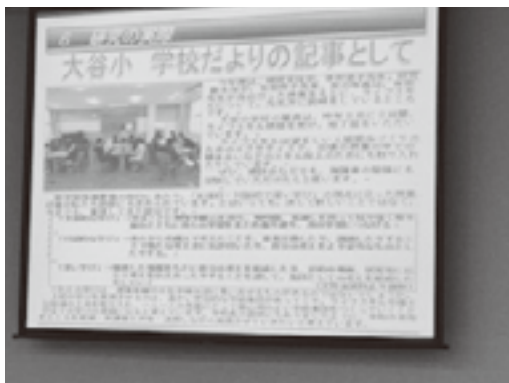
子供達と主体的・対話的な学びを通してライフスキル教育を実践している体験発表はとても分かりやすくワクワクしました。

教育の現場ではライフスキル教育の重要性を理解していても、授業などで時間が足りず、教員も多忙でなかなか実践できないというジレンマがあります。しかし、ライフスキル教育が効果を上げれば、子供たちがコミュニケーション能力、解決する能力、感情をコントロールする能力を向上させ、授業の効率が良くなり、生活、進路についても考えが向上するため教員が良い仕事ができるようになります。

ライオンズクラブ国際協会はこのライフスキル教育を支援し、実践し、青少年の健全育成に役立っていく必要があります。

その結果、社会に出た青少年がよりよい社会を実現していく。ライオンズクラブはライオンズクエストを通して社会に奉仕するだけで、あらゆる問題を解決に導くことができます。

ライオンズクエストだけやっていたい気持ちになりました。



ク/ラ/ブ/紹/介

クラブについて

1R1Z L.川村 勇司 (盛岡中津川LC会長)

当クラブは1965年盛岡不來方ライオンズクラブのスポンサーにて結成され、その間1989年には故加藤芳太郎地区ガバナー、2014年には吉田昭夫地区ガバナーを輩出しWe Serveの理念のもと、メンバーと共に様々な活動を続けています。

本年度は「Lの魅力を高めて更なる前進」をテーマにライオンズの価値、魅力、強みを活かし高めて、地域社会に貢献するべくアクティビティを行っています。

主なアクティビティについて

《青少年健全育成》

当クラブの代表的事業として「盛岡地区少年剣道大会」を開催しております。今回で39回目となり、盛岡広域圏より400名余りの少年剣士、そして盛岡市長にご参加いただく、クラブ恒例の大きなアクティビティとなっています。

また、クリスマスアクティビティとして児童養護施設和光学園にて餅つきを行っています。毎年、子供たちと餅つきをしてつきたての餅を一緒に食べ楽しいひと時を過ごしています。

《清掃活動》

盛岡城跡公園本丸や南部藩墓地などの清掃活動を継続して行っています。本年は盛岡城跡公園管理事務所へ竹ぼうき20本を寄贈いたしました。また、南部藩墓地には昨年LC百周年記念植樹として桜の木を植樹し、今年の国際地球デーでも桜を植樹します。

《献血推進》

献血アクティビティとして毎年岩手県赤十字血液センターのバレンタイン献血キャンペーンに協力し盛岡南イオンにて献血推進の活動を行っています。

《東日本大震災復興支援》

陸前高田市竹駒保育園へ2012年ひな人形の寄贈から始まり、大型紙芝居の寄贈など継続して支援アクティビティを行っています。

その他、バーベキュー例会、クリスマス家族会、新年例会などメンバーや家族との親睦を図る活動も行っております。



第39回盛岡地区少年剣道大会(18.2.11)



バレンタイン献血(18.2.3)



百周年記念植樹作業(17.6.23)



盛岡城跡公園清掃(17.10.4)



BBQ移動例会
(17.9.10 L.上原宅)

ク/ラ/ブ/紹/介

「啄木の里」地域に合わせたアクティビティ

1R1Z L. 高橋 英雄 (玉山姫神LC会長)

当クラブは、2003年6月当時玉山村に、盛岡ライオンズクラブ様のスポンサーにより、誕生致しました。まだまだ、経験不足のクラブ運営と最小会員数での活動で恥ずかしい限りではございますが、「啄木の里」を中心としたアクティビティについて紹介します。

始めに「第16回啄木かるた大会」は、2月17日盛岡市渋民の渋民文化会館姫神ホールで、小学生から一般まで84チーム252名が参加して開催されました。当クラブは連続15回の協賛事業となっております。

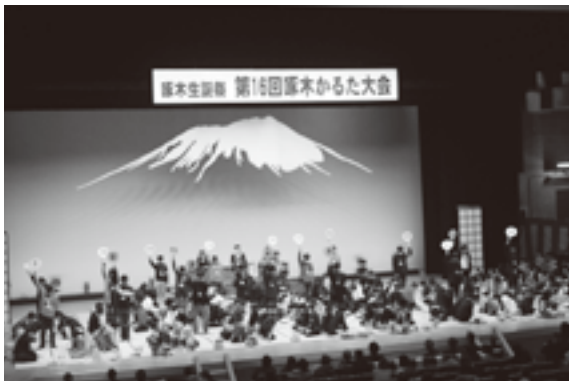
大会目的は、2月20日の石川啄木誕生日に合わせ、歌人石川啄木の歌に親しむとともに、啄木文学の理解や浸透を図り、顕彰を推進、地域の

発展を推進するために実施するとある。大会は3人一組のチームで、小学生1～3年、4～6年、中学生、高校生以上の一般の部に分かれ、予選リーグと決勝トーナメント方式で競い合う。かるたは100枚である。

当クラブが注目しているのは、平素から「啄木かるた」100枚の事、短歌を覚える事は無論、上の句・下の句を何度も繰り返し覚える為の練習が必要なことである。相当の練習時間をさいているようだ。学校によっては、クラブ組織化や授業の一部として取り入れている学校もある。大会までの取り組みこそが、ライオンズクラブの地区運営方針、重点目標の4項目に掲げている、青少年の健全育成に繋がっている。と、確信している。

次に、「啄木記念館前ライオンズ公園整備事業」は、結成時から連年取り組んでいます。主な活動としては、年3～4回の芝刈り・植樹・木の手入れ・歌碑建設等であります。歌碑はこれまでに記念事業で2回実施、啄木愛好家のお話では、160番目・167番目(4/1現在)の歌碑として、記録されている。

今後も、引き続き「啄木の里」の地を生かした、アクティビティを地味ですがコツコツと積み上げる活動をして参ります。



第16回啄木かるた大会



旧渋民小学校前歌碑



ライオンズ公園内歌碑

ク/ラ/ブ/紹/介

藤沢岩手LCの活動について

4R1Z L. 福地 恵理子 (藤沢岩手LC事務局担当)

当クラブは現在43代目会長 L.佐藤滝雄の元、家族会員含め49名にて活動中です。

様々な環境により例会参加の会員数が少ない事が問題であるが、「献血推進」「薬物乱用防止」「青少年の健全育成」をモットーとし各種事業を実施しております。年に2度の献血車まごころ号来町の折は日赤に協力チラシを掲示し、献血協力の呼びかけをし愛の献血協力者の方々に感謝と敬意を込め粗品をお渡ししています。

藤沢中学校の2年生を対象に毎年「薬物乱用防止教室」を実施、薬物乱用の恐ろしさを伝え健全な身体づくりを呼びかけています。今年のひなまつりには町内3保育施設の園児全員へひなあられをプレゼント、共にひなまつりを祝い交流し子ども達の元気な様子に心洗われました。

震災後続いている事業としては新小学一年生を対象に「防災頭巾」を贈ることです。町内3小学校の入学式に併せての贈呈で、児童の安全確保と日頃の防災意識向上に役立てているとことです。また町内のスポーツ少年団へも活動の協力を実施しています。

「地域と共に生きるクラブ」としてこれからも子ども達の活動を支援していければと思っております。今期は当クラブの L.玉澤肇が4R1ZのZCとして活動、残りの期間Z内の活動への更なる協力をしてまいります。人口減少の地域問題により会員増強は難しいが共に活動する人と呼び寄せることが出来る様に、まずは現会員の結束強化！



防災頭巾贈呈 入学式



ひなまつり 御礼のプレゼント



薬物乱用防止教室 H29年12月



献血推進事業

ク/ラ/ブ/紹/介

より多くの笑顔で We Serve

3R1Z L.小野寺 恵喜 (金ヶ崎LC会長)

当クラブは、題名に掲げた言葉を今年度のアクティビティスローガンとして活動してきました。当クラブのアクティビティの中で、より多くの笑顔に出会えた活動をご紹介します。

○「休まないぞ！」〈無欠席表彰〉

今年で25年目となる小学校6年間無欠席表彰（小中学校9年間は11年目）は、当クラブで1番長く取り組んでいる活動で、今年も3月に町内5校を訪問し、26名の児童を表彰してきました。晴れ晴れとした表情で賞状を受け取る姿を見て、私も感動を覚えました。学校からは、「子供達が『休まないぞ』という強い気持ちを持って登校し、ご家族の励ましの下、無欠席を目指して頑張っています」との心強い言葉を頂いております。これからもたくましい金ヶ崎っ子が育っていくことを願い、継続活動していきます。

○「この絵はすごい！」

〈by国際平和ポスター委員長L.桐山和夫〉

国際平和ポスター審査会では、1人3点を選んで投票し、投票数の多い作品が当クラブの代表作の候補となります。大抵の場合、インパクトのある作品に目がいきがちですが、L.桐山は「この絵はすごい！」と誰も目をとめなかった作品に素晴らしさを見出し私達に教えてくれます。今年のお品作品もその通りで、県で優秀賞を頂くことができました。L.桐山は毎年「子供の可能性を広げてあげたい」との思いで温かい励ましや絵のアドバイスを1人1人書いてきました。継続14年目となる今年、コメントを書いた作品数が500枚を達成しました！心を込めた活動は子供達の可能性を見出し、学校や子供達にも定着した活動となっています。

○「3010(さんまるいちまる)運動」

例会懇親会では、開始30分は席でゆっくり食事をします。また、終了10分前には自席に戻り、料理を残さず頂きます。食糧支援にも力を入れ

て取り組んでいくために「まずは自分達から意識して取り組んでみよう」と取り入れた内容でしたが、2年目にしてすっかり当クラブの定番スタイルとなりました。特に、開始30分は、食事をしながら様々な話題で盛り上がり、時にはドット笑いがあふれる親睦と学びのある楽しい懇親の時間となっています。

当クラブはこれからも、地域や町の方々のより多くの笑顔に繋がる活動を自分たちも楽しみながら、心を込めて活動して参りたいと思います。



9年間無欠席の中学生は11名



県入賞(優秀賞・佳作)の児童と一緒に



懇親会開始30分の様子



会員拡大 —純増10%達成に向けて—

会員増強の取組について

L. 三浦 正幸 (大槌LC会長)

今年度のガバナー重点目標である会員増強(純増10%)は当クラブにとってどうしても達成しなければならない課題として取組んできました。

1976年発足時に46名でスタートした会員が徐々に減少していく中、2011年3月の東日本大震災で多くの会員が犠牲になった事や活動の拠点であるクラブ事務所が流失した事などでクラブの存亡の危機に見舞われました。

また、会員も震災から7年が経過しましたが未だに仮設住宅住まいや仮設店舗での営業を余儀なくされている現状です。しかし、全国(世界)の仲間の支援によりクラブ事務所を再建し、厳しい状況の中ではありますが「私たちL.は何の為に組織しているのか」?自問し、「奉仕の精神」という原点に立ち返り活動を継続する事と思っております。

現在は従来の活動を継承しつつ出来るだけ諸団体と連携しながら身の丈に合った取組をすることにより「ライオンズの認知度」を高め内外にアピールしているところです。

本題の会員増強の取組に当たっては、まず、身近な人へアプローチして入会者の拡大に努めております。今後、会員を増やさなければクラブの運営費も賄えない状況にあることからクラブ員全員で会員の拡大に努力しているところです。

具体的な取組としては、

- (1) 旧会員の縁故者の勧誘
- (2) 自分の事業を通じた取引関係者へ加入の働きかけ
- (3) 旧会員の後継者へ入会要請等を行い会員増強に努めております。

今年度の会員状況は、期首会員数23名、2月末会員数26名(脱会者1名)で3名の純増となっております。年度内にもう1名の会員確保を目指しております。



歳末助け合い



岩泉町台風被災者支援



仮設住宅支援



スポーツ少年団支援

～ 心より歓迎いたします ～

第64回年次大会まもなく開催

平年より早く桜が咲き温かくなってきた4月の16日、第64回年次大会まであと1ヶ月を切り、いよいよ準備に余念がないこの日に詰めの打ち合わせ準備会議が行われ、各部門ごとに不足はないか、準備は怠りないかなどを確認したところです。

なお、次回は会場での準備会議で実際の流れなどの確認を行い、参加する仲間の皆様を気持ちよく迎えるために奮闘しておりますので、たくさんの仲間のご来場をお待ちしております。

●大会テーマ 「育てよう 利他のこころ」

●メッセージ

ライオンズクラブが日本に誕生して66年を迎えます。
その中で先達は、数多の奉仕の歴史を築いて来られました。
後に続く我々は、仲間と絆を確かめ合いながら、
その輝きを守り育てなければなりません。
勇気と誇りをもって前進しましょう。



生涯スポーツセンター



打合せ会議①



打合せ会議②



打合せ会議③

アトラクション紹介

第64回年次大会には、自慢のアトラクションでお楽しみ下さい!!

SUMITA チェンソーアート 柚遊会

チェンソーアートは、1本の原木からチェンソーを駆使し、ダイナミックかつスピーディーに繊細な作品を作り上げる「チェンソーによる彫刻芸術」です。

カナダやアメリカが発祥の地とされており、日本でも、ログビルダーや彫刻家を中心に独自の手法で取り組まれておりましたが、2000年頃に本格的に紹介されると全国に広がり、愛好者が増えている状況にあります。

本町におきましては、森林林業の町の特色と森林資源を活かした地域づくりをしたい、また、森林の持つ豊かな可能性、自然環境・循環の大切さ、木を利用する楽しさなどについて、次代を担う子供たちに伝えていきたいという仲間が、チェンソーアートという新しい取り組みに挑戦してみようということで、平成22年5月に「SUMITAチェンソーアート柚遊会」を設立しました。現在、会員数は30名程ですが、各種行事等におけるデモンストレーションや作品展示、チェンソーアート競技大会の開催等の活動に取り組んでいます。

本会は、本町に開かれた窓「チェンソーアート」で、私達、そして、住田町の「夢」を創造していきたいと考えています。



外館甚句



気仙甚句の流れをくむもので、古来よりお祝いの座敷での踊りとして当地方に伝えられていたものを、踊りがまちまちであったことから、昭和49年、師匠と地区の若者及び婦人グループの手により踊りを統一し、現在の外館甚句として完成させ、保存・伝承している。

気仙甚句は、気仙地方各地で唄われ踊られるが、発祥、由来、伝承は定かでないという。

チンドン寺町一座



「チンドン寺町一座」は岩手県大船渡市日頃市町長安寺の地域の若者が、昭和47年に町おこしに創作太鼓長安寺太鼓保存会を設立した。そのメンバーが日本の古き良き時代の、あの懐かしいチンドン屋を始めようと平成15年に太鼓部門を若者に任せ、東京の菊乃家親方に指導を受け「チンドン寺町一座」を旗揚げ、地域の活性化と多くの人々に笑顔と夢と希望と元気を与え、絆の和を広げる活動や各種イベント等に出演等、県外では大船渡市の観光物産などのPRをしています。

平成23年3月11日の大震災後は支援を戴いた全国の皆さんへ感謝と御礼し、今は三陸沿岸復興に向けて元気に頑張っておりますと伝えていきます。

私達は明るく楽しく生涯現役を合言葉に、日々練習に励んで居ります。

多くの仲間から支援をもらい、25年9月に念願の東北初の復興大船渡・全国チンドン祭りを開催。現在に至っております。

- ☆略歴 毎年富山と前橋の、全日本素人チンドンコンクールに参加、
平成17年・18年・21年・25年=富山：全日本チンドン大会（優秀賞：2位）（準優勝）4回
平成26年・11月 前橋：全国大会にて（プロが選ぶ技術大賞：みどりや賞受賞）
平成21年・22年・24年11月 前橋：全国ちんどん競演会（最優秀賞：1位）（日本一）3回
平成20年・27年・28年4月 富山：全日本チンドン大会で（最優秀賞：1位）（日本一）3回
- ☆座長 菊乃屋 鈴丸（鈴木正利） 連絡先=TEL: fax 0192-27-9705

3月のアクティビティ

1 R 1 Z		
盛岡LC	—	
盛岡不来方LC	8日	みちのくこども療育センター 「不来方ライオンズ文庫」へ図書寄贈
	12日	ひかりの箱募金
盛岡中津川LC	2日	陸前高田市竹駒保育園支援事業 「大型紙芝居寄贈」
盛岡観武LC	～16日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	4日、18日	こども食堂
	7日	台湾・花蓮震災募金
	10日	ヘアドネーション
盛岡南LC	15日	ひかりの箱募金
	12日	ひかりの箱募金
滝沢LC	26日	視覚障がい者の為の手で見る 博物館に記念楯贈呈
	8日	図書カード寄贈
玉山姫神LC	13日	ひかりの箱募金
	—	
1 R 2 Z		
二戸LC	1日	暴力団追放二戸地区民会議
	15日	ひかりの箱募金
西根LC	28日	第27回若手山焼走りマラソン全国大会
安代LC	13日	ひかりの箱募金
2 R 1 Z		
花巻LC	12日	ひかりの箱募金
紫波LC	16日	ひかりの箱募金
	27日	献血推進活動
石鳥谷LC	1日	県立花北青雲高等学校卒業式
	11日	石鳥谷中学校卒業式
花巻東LC	15日	ひかりの箱募金
	26日	レディース委員会 手づくり作品作成(事業資金獲得)
東和猿ヶ石LC	3日	被災者支援事業
	29日	使用済み切手 3650枚送付
矢巾LC	7日	矢巾駅「雨傘50本」補充、駅周辺清掃
	27日	LCIF\$20献金
2 R 2 Z		
北上LC	2月1日～28日	資源回収リサイクル活動
	19日	ひかりの箱募金
	5日	中古眼鏡リサイクル収集・ リサイクルセンターへ送付
	5日	使用済み切手 30000枚送付
	29日	薬物乱用防止啓発セミナー
和賀LC	2日、16日、28日	献血推進活動 4件
	5日	ひかりの箱募金
	20日	資源回収

和賀LC	23日	使用済み切手10,410枚書き損じハガキ3枚送付
北上国見LC	11日	東日本大震災・大津波犠牲者追悼式
	13日	ひかりの箱募金
江釣子LC	11日	東日本大震災犠牲者7周年追悼式
	11日	献血推進活動
	15日	ひかりの箱募金
	20日	集団資源回収事業補助金交付
3 R 1 Z		
水沢LC	4日	献血推進活動
江刺岩手LC	3日	第17回江刺岩手LC旗 中学生バレーボール退会
前沢LC	18日	献血推進活動
水沢中央LC	9日	ひかりの箱募金
	23日	使用済み切手 12629枚送付
金ヶ崎LC	13日	ひかりの箱募金
	14日、16日	小学6年無欠席、小中通算9年無欠席表彰
	17日	金ヶ崎第一小学校卒業証書授与式
胆沢岩手LC	13日～16日	奥州市胆沢区小・ 中学校を対象に優良児童生徒表彰
3 R 2 Z		
一関LC	28日	使用済み切手 1500枚送付
平泉LC	5日	献血推進活動
	7日	ひかりの箱募金
花泉LC	6日	新入学児童ヘラントセルカバー贈呈
一関中央LC	13日	ひかりの箱募金
	16日	使用済み切手 1000枚送付
	20日	一関二高レオと合同ACT
一関殿美溪LC	20日	通学用・防犯ハンディライトミニ・LED贈呈
4 R 1 Z		
千厩LC	5日	新入学児童への 「黄色いランドセルカバー」贈呈
	9日	献血推進活動
	14日	ひかりの箱募金
	15日	千厩小学校卒業証書授与式参加
	17日～21日	千厩町各小学校閉校式参加
大東岩手LC	6日	新入学児童にランドセルカバー贈呈
	9日	ひかりの箱募金
	12日	大原小学校「寄席」実施
東山LC	14日	東山中学校卒業式
	16日	東山小学校卒業式
藤沢岩手LC	2日	保育施設園児に「ひなあられ」プレゼント
川崎岩手LC	—	
室根LC	20日	室根各小学校新入学生 ランドセルカバー贈呈
	20日	室根こども園卒園式
	20日	使用済み切手 4229枚送付

4R2Z		
大船渡LC	19日	ひかりの箱募金
	23日	せきれの会 声の図書館の点検と整備
陸前高田LC	8日	クリーン大作戦
	11日	鎮魂の碑・周辺清掃(ライオンの森)
	15日	ひかりの箱募金
	21日	気仙中学校閉校式
	23日	ものづくり体験教室
住田LC	—	
大船渡五葉LC	—	
5R1Z		
宮古岩手LC	4日	第32回陸中宮古LC旗争奪剣道大会
久慈LC	12日	ひかりの箱募金
	25日	桜の木てんぐ巣病駆除作業
陸中宮古LC	3日、4日	第32回陸中宮古LC旗争奪剣道大会
	7日、13日	レディの会奉仕活動
	11日	震災慰霊 鎮魂の夢灯り
	14日	スポーツ文化振興基金表彰式
	27日	LCIF写真撮影(取材対応)
田野畑LC	—	
岩泉龍泉洞LC	—	

5R2Z		
釜石LC	1日	釜石商工高校卒業式
	11日	東日本大震災犠牲者追悼式(市、県・釜石、大槌仏教会)
	11日	鎮魂の碑 清掃、献花
	21日	LL奉仕活動
遠野LC	7日	リサイクル品の回収
	15日	アイバンク基金
釜石リアスLC	11日	東日本大震災犠牲者追悼式
	11日	東日本大震災復興チャリティコンサートVol7
	26日	ひかりの箱募金
	27日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	11日	「希望の灯り」献花
陸中山田LC	9日~16日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト展示会、表彰式
	11日	3.11 7年目追悼式
ライオネスクラブ		
西根LS	—	
レオクラブ		
盛岡LEO	11日	カーリング体験
石鳥谷LEO	—	
北上LEO	29日	薬物乱用防止啓発セミナー
一関二高LEO	20日	一関警察署と一関市役所へ鉢花100鉢寄贈
釜石LEO	—	



会 員 動 向

3月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
盛岡南LC	潮 田 隆 子
	川 村 匡 輔
	菊 田 亜 衣
	菊 田 有 希
花巻LC	大 和 栄利子
和賀LC	小 原 那 奈
	菊 池 実
	佐 藤 美保子
	千 葉 一
	傳 福 左緒史
水沢中央LC	小野寺 康
一関中央LC	小野寺 康
	木 村 義 人
	栗 原 秀 郎
	小 岩 邦 弘
	小 岩 智 子
陸前高田LC	今 野 公 英
	熊 谷 浩
	熊 谷 真理子

陸前高田LC	戸 羽 幸 輝
	長谷川 美紗喜
	村 上 健
住田LC	村 上 正 孝
	吉 田 正 平
久慈LC	中 村 均
遠野LC	二 子 賢 一
	松 田 克 之
陸中山田LC	澤 田 敏 男

2018年3月 LCIF \$ 1000 献金 なし

訃 報

花巻LC
故 L. 晴山 正一

享年73歳(2006年11月入会)
3月11日 ご逝去





アクティビティ フォトグラフ

滝沢LC



図書カード10万円分を市に寄贈

盛岡観武LC



こども食堂

花巻東LC



レディース委員会手作り作品製作

花泉LC



ランドセルカバーの贈呈

大東岩手LC



寄席

水沢LC



献血推進活動

盛岡不来方LC



不来方文庫図書寄贈式

北上LC



薬物乱用防止セミナー2018

陸前高田LC



慰霊碑清掃及び献花

編集後記

あつという間に通り過ぎたような印象の今年の桜ですが、ライオンいわても残すところあと2回となった今、同様の気持ちがあります。

また、住田キャビネットも会報、64回大会と慌ただしい毎日ですが、残り少ない日々をゴールに向かって走り続けたいと思います。

会報あと2回へのご寄稿と、64回大会へ多数のご参加をお願い致します。
(編集委員長 L.熊谷千洋)

《表紙の写真》 蔵の街世田米

宿場町の多かった仙台藩の中でも主要な宿駅として賑わいを見せた世田米ですが、火災が多発して人の出入りが激しかったため土蔵を建てて家事や治安から財産や町民を守ったといわれ、その名残りで今でも蔵が多く残っていて、1戸の家で2・3棟の蔵をもっている家にもある。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行：2018年4月25日

発行人：L.森谷 潤

編集委員長：L.熊谷千洋

副委員長：L.瀧本正徳 L.金野廣勝

編集委員：L.阿部祐一 L.千葉弘志

L.高橋哲郎 L.大坂佐智夫

印刷：タクミ印刷株式会社

〒029-2205 陸前高田市高田町字法量68-1

Tel 0192-55-2178 fax 0192-55-5187

E-mail : takumi2@aurora.ocn.ne.jp

キャビネット事務局：〒020-0022

盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

Tel 019-621-1415 fax 019-621-1420

E-mail : morioka-cab332b@almond.ocn.ne.jp